

ふう けい き こう  
**風景紀行**  
**大日ヶ岳と  
 ひるがの高原**  
 49  
 岐阜森林管理署  
 (各署の景勝地等を紹介)

**大日ヶ岳とひるがの高原**

(奥長良川県立自然公園)

〔岐阜署〕大日ヶ岳(二百名山)(標高一、七〇九<sup>メートル</sup>)は、白山の南東に位置し、頂上付近は白山国立公園に属しています。

その昔、養老元年(七一七年)、**泰澄**大師の開山とされ、信仰の山として知られています。頂上には、大日如来が奉られており、方位盤が設置され、眺望は白山主峰と別山が並んで見え、遠くに北アルプス連峰が広がります。

登山ルートとしては、ひるがの高原、ダイナランドスキー場、ウイニングヒルズスキー場の三方向からの登山道があります。岐阜県側から頂上へは約二時間半から三時間半で、登山道標識はありますが途中での水場はありません。ひるがの高原から途中の一ぶく平のブナ林は圧巻です。

山頂に降った雨は、長良川、庄川、九頭竜川の三方向に分かれて流れ出ます。

岐阜県側の山腹には、ダイナランド、高鷲スノーパークのスキー場が広がり、東側には、ひるがの高原があり、夏は避暑地として、秋は紅葉狩り、冬はスキーが楽しめます。また、ミズバショウで知られるようになったこのひるがの高原湿地は、厚い泥炭層が堆積し、長い年月を経てできたものです。泥炭層の中には花粉をはじめ珪藻、種子、植物体など数々含まれ、湿原形成の第一要因には、寒冷な気候ですが、ひるがの湿原形成が可能な南の限界にあります。

雪解けの清らかな水が湿地に集まり水の精の化身ミズバショウが一面を純白の衣装で埋め尽くし、ワタスゲ、コバイケソウ、モウセンゴケ、リュウキンカなど



一ぶく平のブナ林

ど、みずみずしい花たちが次々に湿原の色を変えていきます。

◆アクセス

ダイナランドへは、東海北陸自動車道高鷲ICより7km、約十分。長良川鉄道、美濃白鳥駅より約二〇km。



冬の大日ヶ岳を望む



頂上付近の稜線を進む